

## 《プロジェクト名：遊休農地活用高付加価値化プロジェクト》

市町村	白鷹町	対象地域	白鷹町山口地区	分野	農林水産物の加工（土地利用型作物）
実施主体名	レインボーブリッジしらたか	代表者氏名	槌谷謙滋郎	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	白鷹町大字山口2579 0238(85)4786
実施主体構成	地区内農業者 6名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	20,650千円（20,650千円）					
	独自の目標項目	荒廃農地の計画的整備面積 600a					
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）	
	産出額	0千円	1,920千円	5,460千円	10,935千円	16,963千円	20,650千円
	独自の 目標項目	荒廃農地の計画的 整備及び転作田の 有効活用を図る	荒廃農地整備 (a) 300 =累計=	荒廃農地整備 (a) 300 =累計=	荒廃農地整備 (a) 400 =累計=	荒廃農地整備 (a) 500 =累計=	荒廃農地整備 (a) 600 =累計=
プロジェクト 概要	◎実施方針	荒廃農地の計画的整備及び転作田の有効活用を図り、地産地消を柱に地元の歴史と文化に裏付けられた当地域ならではのそば粉加工、野菜生産による農産加工に着手し、民泊等町外の利用者へ食材を提供し、農業産出額の拡大に努める。					
	○産出額の増大	そば(粉)4,000千円、麦(粉)8,750千円、青菜1,200千円、その他野菜1,200千円、米(粉)5,500千円					
	○雇用の創出	地元農家での「手打ちそば屋」の開設及び農産加工事業の取組みにより、女性・高齢農業者の雇用の創出。冬期間の雇用で4か月×1人=120人日。					
	○創意工夫	遊休農地を活用しての高付加価値農業の実践、そば畑などの農村らしい景観の創出、歴史・文化に基づく地域資源の発掘と活用。					
	○実現性	荒廃農地の解消により生産基盤の確保を図り農業産出額を拡大していくこと。又、山口地域協議会（H21.2.18設立）の活動や地元のふれあい農園直売所があり、地産地消に対する地区内の農業者及び地区住民意識が高く、各関係機関の指導体制も充実しているため実現性が高い。					
	○地域への波及効果	地区の経済効果の向上は勿論のこと、耕作放棄地が減少し優良な農村環境が実現できる。又、この地区の取組みが隣接する地区へ広がりが期待される。					
	○その他	山口地域協議会との連携、地元直売所の活用や景観整備等の地域の盛り上がりの中で、教育旅行の受入れ、農村体験などの民泊等交流人口の増加が見込まれ、さらには陽光学園、町内漬物加工団体への食材の提供により地域活性化が期待できる。					

		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成22年度）
	事業内容	汎用乾燥機、製粉機、冷蔵庫の購入	